

業といった豊頃町を外向けに発信していき事業のほか、子育て関連施策、教育、地域づくりにも活用していきたいと考えている。

### まちなか活性化拠点施設「一般社団法人ココロ」の運営体制について

Q 互産互生推進事業をはじめ各種事業活動を行っているが、現在の事業運営状況は。

A 按田町長 本町の地域振興、まちづくり、地方同士の連携に関する活動を行い、地方創生に関する互産互生推進事業や地域プランディング事業など、本町を内外に発信する事業を実施しており、またココロテラスの管理運営、シユエリーハウス・コミュニケーションスペースんがわの管理、とよころ物産直売会の事務を受託し、運営をしているところである。

Q 指定管理者制度への移行について、いつ指定管理者に移行しようと考えているのか。

A 按田町長

指定管理者は、現在施設を管理している法人を含めた町内の事業者にお願したいと考えているが、指定管理を受託できる体制をしっかりと整備しなければならず、そのため移行の具体的な時期については、現時点では未定であり、できるだけ早い段階で議会にお示ししたいと考えている。

Q まちなか活性化拠点施設に商工観光課職員が勤務しているが、本庁舎に戻すべきではないか。

A 按田町長

商工観光課は、一般社団法人「ココロ」の設立・運営のサポート、地場産品の開発や観光資源のプランニング、プロモーションなどまちづくりと観光PRなどを推進するために当該施設に配置している。当該施設が指定管理により運営される場合や、機構上の効率化により、役場庁舎内に課を配置する必要性が生じることも想定される。

### 行政機構の見直しについて

Q 職員の年齢構成が変わりつつある中、全体的な業務体制の見直しが必要だと思いが、行政機構の見直しをする考えは。

### 総務文教常任委員会レポート

1 調査の経過と結果 (1) 豊頃町地域防災計画の見直しについて

豊頃町地域防災計画は、平成31年3月に見直しを実施した以降、見直しをしていないことから、今後、国の防災基本計画や北海道地域防災計画との整合を図ることも、現在想定される被害に対応した内容へと見直し、国、道等の防災関係機関及び町民や事業者等と連携を図りながら、町の組織機構に合わせた本部体制や業務の内容と整合を図るなど必要な修正を行うこととしている。

(2) コロナ禍に対応した避難所訓練等について

コロナ禍を想定した避難所の運営については、昨年10月にえる夢館において避難所開設の実践訓練を実施している。

今後は、訓練を基にした「感染症対応避難所運営マニュアル」を今年度中に作成し、実践に向けての対応を図ることとしている。

(3) 各地域における避難訓練の実施について

例年、大津地域において実施している避難訓練については、コ

総務文教常任委員会(小笠原茂人委員長)は、11月4日、いまだ終息が見通せない新型コロナウイルス感染症や、気候変動による大災害から町民を守るための防災体制について、説明聴取及び備品の整備状況調査を行いました。

ナ禍で実施されていない状況で、他の地域では自主防災組織において1地区で、連絡網を活用した伝達訓練を実施している。



担当課からの聞き取り

今後は、町内5地域に組織されている5つの地域防災組織との連携を図りながら、コロナ禍に対応した避難訓練のあり方を検討するとともに、町の指導の下に自主的な実施について各地域に協力を求めたいと考えている。

(4) 災害時における役場業務の危機管理体制について

現在、災害時における役場職員個々の業務分担については、災害対策業務及び通常業務それぞれに特段の定めは無い状況であり、それらの対応について全職員が共通

A 按田町長 再任用職員制度や段階的な定年の延長により、幅広い年齢層で組織構成がされることとなる。国の動向や地域の実情に即した行政組織が求められていることから、限られた人数の中でより効率的で組織的な業務体制の確立のため熟慮しており、行政組織機構の見直しについては、今後調整を行い、お示しできればと考えている。



杉野 好行 議員

### 新型コロナウイルスワクチンの接種状況等について

Q ワクチンの接種者は何歳からで、対象者に対する割合は

A 按田町長

ワクチン接種対象者は12歳以上からで、対象者数は全体で2,843名である。12月1日現在で、2回接種を完了した方の割合は91.7%となっている。

Q 接種券を送付した町民の中で、接種を受けなかった町民

に対してはどのような対応をとったのか。

A 按田町長

一人暮らしの高齢者など、一部の未接種者については、訪問の際に状況を把握し、予約調整や会場への送迎などを行うなど、接種機会の確保に努めてきている。

### 特別養護老人ホームとよころ荘の施設見学

第4回定例会閉会后、議員全員で、既存施設の改修を終えた特別養護老人ホームとよころ荘の施設見学を行いました。

施設内見学に先立ち、施設長から設備の説明や今後の運営等について説明を受け、意見交換を行いました。



改装された施設内を見学

ることができた。

今後は、「豊頃町地域防災計画」の見直しや「感染症対応避難所運営マニュアル」及び「業務継続計画」の作成などにより、防災体制をより確実なものとするよう検討されてはいたが、各地域での避難訓練の実施状況や災害時における役場職員の避難所での行動及び通常業務についての模擬訓練等の実施が不十分であるとともに、町内にある医療施設等を含めた公共施設を避難所として有効利用することも検討する必要があるとの意見が出されていた。

また、コロナ禍において防災体制をより強固なものとするには、町民及び関係機関との関わりを強くし、町全体で災害に強いまちづくりの取組みを進めるべきとの意見が出された。



災害備品の整備状況確認

2 まとめ 本調査では、現時点でのコロナ禍における町の防災体制を確認す



備蓄されている非常食